

乳幼児栄養調査データの再解析

～幼児のスクリーンタイムと食習慣・間食との関連、
低出生体重児における授乳・離乳期の生活状況や食事の困りごとの特徴～

研究分担者 祓川摩有（聖徳大学 児童学部児童学科）

研究分担者 吉池信男（青森県立保健大学 健康科学部栄養学科）

研究要旨

【目的】平成27年度の乳幼児栄養調査（厚生労働省）では、スクリーンタイムが調査項目に追加されたが、詳細な分析は行われていない。また、低出生体重児の割合の増加に伴い、低出生体重児の支援の充実が求められているが、出生体重児別の詳細な分析も行われていない。そこで、本研究では、「幼児期の健やかな発育のための栄養・食生活支援ガイド」作成の参考資料を得るために、本調査データを再解析し、（1）幼児のスクリーンタイムと食習慣・間食との関連および（2）低出生体重児における授乳・離乳期の生活状況や食事の困りごとの特徴を検討することとした。

【方法】平成27年度乳幼児栄養調査データを利用し、再解析を行った。

【結果・考察】スクリーンタイムの時間は、菓子、甘味飲料、インスタントラーメン・カップ麺、ファストフードの摂取頻度と正の関連があることがわかった。3～5歳児に対して、健診などの場で食生活に関わる支援・指導を行う際には、間食の状況等とともに、スクリーンタイムについても把握し、指導上考慮する必要があると考えられた。また、低出生体重児では母乳や離乳食の量を心配することが多く、保育所に預けていないことが多いため、乳幼児健診や病院での支援をより充実させる必要が示唆された。これらの結果は、今後、幼児期の健やかな発育のための栄養・食生活支援ガイド作成のために、活用していく。

A. 研究目的

平成27年度乳幼児栄養調査¹⁾では、約80%の保護者が何らかの子どもの食事について困りごとを抱えていることが明らかになっている。そこで、平成29年度の本分担研究では、特に昼間の預け先とゆとり感に特に焦点を当てて検討した。その結果、社会経済的要因として、「ゆとり感」がある方が、困りごとの数が少なく、気をつけていることの数が多い傾向がみられた。また、預け先別の解析では、保育所、幼稚園、認定こども園や、祖父母や親戚などに預けている者は、困りごとの数が少なく、預け

ていない者は困りごとの数が多い傾向が示された。

一方、「子どもの食事で特に気をつけていること」は「特にない」と回答した者の割合は、1.7%であり、ほとんどの保護者は、子どもの食事について、何らかの気をつけていることがあることが報告されている¹⁾。しかし、特に気をつけていることに関する詳細の分析は進められていない。そこで、平成30年度の本分担研究では、子どもの食事で気をつけていることの回答数に着目し、解析した。その結果、気をつけていることの数が多い群（5個以上）では、

肉、野菜、果物の摂取頻度が高く、甘味飲料の摂取頻度が低く、間食により注意を払っている傾向にあり、気をつけていることの数が多い者の方が、食生活状況が良いことが明らかになった。

また、様々なメディアの普及と技術革新の結果、従来のテレビディスプレイによる視聴の他に、スマートフォンやタブレット端末等によるメディアの視聴時間（スクリーンタイム）が増加してきており、それらが生活や健康に与える影響について国内外で多くの検討がなされてきている。わが国においても、学童期を中心に、子どものスクリーンタイムと睡眠、肥満、栄養素摂取等との関連が、主に横断研究によって示されている。しかし、わが国では就学前児童を対象とし、食事習慣に焦点を当てた検討は限られている。平成 27 年度乳幼児栄養調査では、スクリーンタイムが調査項目に追加されたが、詳細な分析は行われていない。

一方、低出生体重児の割合の増加に伴い、低出生体重児の支援の充実が求められているが、平成 27 年度の乳幼児栄養調査では、出生体重児別の詳細な分析は行われていない。

そこで本研究では、「幼児期の健やかな発育のための栄養・食生活支援ガイド」作成の参考資料を得るために、本調査データを再解析し、

(1) 幼児のスクリーンタイムと食習慣・間食との関連および(2) 低出生体重児における授乳・離乳期の生活状況や食事の困りごとの特徴を検討することとした。

B. 研究方法

1. 解析対象者

平成 27 年度乳幼児栄養調査の対象者は、平成 27 年国民生活基礎調査において無作為に設定された 1106 地区内の世帯のうち、平成 27 年 5 月 31 日現在で 6 歳未満の子どものいる世帯

及びその子どもとし、データの得られた 2992 世帯、6 歳未満の子ども 3936 人のうち、子どもの年齢の情報が得られなかった又は年齢が対象外等であった 65 人を除外した 3871 人が本調査の対象となっている¹⁾。

2. 解析方法

(1) 幼児のスクリーンタイムと食習慣・間食との関連

スクリーンタイムについては、「お子さんが家でテレビやビデオを見る時間、ゲーム機やタブレット等を使用する時間は、平日及び休日について、それぞれ 1 日にどのくらいですか。」という問いに対して、「1 時間より少ない」「1～2 時間」「3～4 時間」「5 時間以上」「見ない・しない」を選択してもらった。また、食品摂取の量的な把握は困難であったことから、幼児期において重要と考えられた 13 食品（穀類（ごはん、パンなど）、魚、肉、卵、大豆・大豆製品、野菜、果物、牛乳・乳製品、お茶など甘くない飲料、果汁など甘味飲料、菓子（菓子パンを含む）、インスタントラーメンやカップ麺、ファストフード）について、「毎日 2 回以上」「毎日 1 回」「週に 4～6 日」「週に 1～3 日」「週に 1 回未満」「まだ食べていない（飲んでいない）」を選択してもらった。間食については、「お子さんは、間食（3 食以外に食べるもの）として甘い飲み物やお菓子を 1 日何回とりますか」と尋ねるとともに、その与え方について、「時間を決めてあげることが多い」「欲しがるときにあげることが多い」「間食でも栄養に注意している」「甘いものは少なくしている」「甘い飲み物やお菓子に偏ってしまう」「スナック菓子を与えることが多い」という選択肢を複数選択してもらった。

平日及び休日のスクリーンタイムについて、年齢別、昼間の預け先別に分布を確認した後に、

13 食品の摂取頻度、間食の状況、朝食摂取等との関連を検討した。スクリーンタイム及び食品の摂取頻度など順序尺度としてデータが得られているものについては、スクリーンタイム（平日、休日別）との関連の強さを、Spearman の順位相関係数で表した。性・年齢、出生順序、母親の年齢、昼間の預け先（保育所、幼稚園、認定こども園）、並びに既報告で食品摂取頻度と関連することがわかっている「ゆとり感」（経済的、時間的、全般）について、交絡要因として調整した多変量解析（ステップワイズ法によるロジスティック回帰分析）を行った。なお、スクリーンタイムについては、3時間以上とそれ未満の2値に分けた。その他の変数についての2値の分け方は、それぞれ表1-1、図1-3、4に記載した。統計解析にはSAS 9.4 (SAS Institute of Japan)を用いた。

（2）低出生体重児における授乳・離乳期の生活状況や食事の困りごとの特徴

0・2歳未満の調査票に回答した者のうち、出生体重の記載があり、出生体重が1500g未満、4000g以上を除外した1107名を解析対象とした。1500g以上2500g未満を低出生体重児群（86名、 2292 ± 223 g）、2500g以上4000g未満を正出生体重児群（1021名、 3081 ± 324 g）の2群に分け、産後の母乳支援の有無、調査時点の母親の就労状況、子の預け先、授乳期の栄養方法、授乳の困りごと、離乳食の開始時期、離乳食の困りごと等との関連を解析した。統計解析には、カイ二乗検定およびt検定を行い、SPSS Statistics 22 (IBM社)を用いた。

（倫理面への配慮）

乳幼児栄養調査のデータについては、厚生労働大臣あてに調査票情報の提供の申出を行い、承認を得た。また、国立保健医療科学院研究倫

理審査委員会において、疫学・臨床研究の「非該当」と審査を受け実施した。

C. 研究結果

（1）幼児のスクリーンタイムと食習慣・間食との関連

平日、休日ともにスクリーンタイムは、1～2時間が約半数で最も多かったが、3時間以上の者の割合は、休日が2倍近くであり、特に5歳児でその割合が高かった（図1-1）。日中の保育（預け先）ではほとんどの児は保育所、幼稚園、認定こども園を利用しており（図1-5）、平日での過ごし方が異なることから、これらの施設で保育されている児とそれ以外（家庭等）とに分けて、平日と休日のスクリーンタイムの分布を示した（図1-2）。その結果、保育所などで保育されている児では、休日のスクリーンタイムが3時間以上の場合でも、平日では、それより短い（家庭などで保育されている児では平日と休日とはあまり変わらない）ことが確認された。

間食の頻度については、1日1回が約6割であり、1日3回以上は5%程度であった（図1-3）。また間食の与え方（複数回答）については、「時間を決めてあげることが多い」が約6割であるが、一方、「欲しがるときにあげることが多い」が約2割、「甘い飲み物やお菓子に偏ってしまう」「スナック菓子を与えることが多い」が2割弱であった（図1-3）。朝食の摂取状況については、「必ず食べる」以外の者（すなわち、食べないことがある）は、むしろ年少児方が多く4～7%程度であった（図1-4）。

13食品の年齢別摂取頻度は、表1-1に示した。

スクリーンタイムと13食品の摂取頻度との関連では、平日・休日ともにほぼ同様の傾向で、スクリーンタイムが長い場合には、魚、大

豆・大豆製品、野菜、果物、牛乳・乳製品の摂取頻度が低く、甘味飲料、菓子、インスタントラーメン・カップ麺、ファストフードの頻度が高かった（表1-2）。また、スクリーンタイムが長いと、間食の頻度、朝食欠食の頻度が高く、保護者の間食の与え方との間にもそれぞれ関連が見られた（表1-3）。交絡要因と考えられた変数を調整した後に、長いスクリーンタイムとの間で有意の関連が見られた変数は、食品頻度では、果物、牛乳・乳製品（負の関連）、甘味飲料、菓子、インスタントラーメン・カップ麺、ファストフード（正の関連）であった。また、間食の与え方に関しては、「特に気を付けていない」「欲しがるときにあげることが多い」「甘い飲み物やお菓みに偏ってしまう」「スナック菓子を与えることが多い」といった保護者の態度・行動（正の関連）であった（表1-4）。

（2）低出生体重児における授乳・離乳期の生活状況や食事の困りごとの特徴

対象者の特性を表2-1に示した。低出生体重児群は、正出生体重児群と比べ、男児の割合（ $p=0.006$ ）、在胎週数が有意に少なく（ $p<0.001$ ）、1歳時点での肥満度も有意に低かった（ $p=0.011$ ）。

調査時点の母親の就労状況、子どもの昼間の預け先、離乳食の開始時期について、関連をみたところ（表2-2）、低出生体重児群では、母親が就労している者が有意に少なく、保育所に預けている者も有意に少なかった。

授乳および離乳の困りごと（図2-1、2）では、子どもの体重の増えがよくない、母乳を飲むのを嫌がる、離乳食の食べる量が少ないなどの項目を回答している者が、低出生体重児群において有意に多かった。一方、卒乳の時期や方法がわからないと回答しているものは、有意

に少なかった。

D. 考察

本分担研究においては、昨年度に引き続き、平成27年度乳幼児栄養調査のデータを再解析した。

（1）幼児のスクリーンタイムと食習慣・間食との関連

3～5歳児において、平日・休日別に調べたスクリーンタイムの時間は、菓子、甘味飲料、インスタントラーメン・カップ麺、ファストフードの摂取頻度と正の関連があることがわかった。その背景として、保護者の間食に関する態度や行動（例：欲しいときにあげることが多い、甘い飲み物やお菓みに偏ってしまう、スナック菓子を与えることが多い）があるのではないかと考えられた。スクリーンタイムと菓子や甘味飲料等の摂取との間に観察された関連についてはいくつかの解釈が可能である（出来るだけ交絡因子を調整するようにしたが、さらに考慮すべき背景因子があるのかもしれない）が、テレビやタブレットなどの視聴時間が長いと、これらを摂取しやすくなる可能性がある。したがって、3～5歳児に対して、健診などの場で食生活に関わる支援・指導を行う際には、間食の状況等とともに、スクリーンタイムについても把握し、指導上考慮する必要があると考えられた。

（2）低出生体重児における授乳・離乳期の生活状況や食事の困りごとの特徴

低出生体重児の授乳・離乳期の生活状況や困りごとの特徴が明らかになった。低出生体重児では、母親が就労している者、保育所に預けている者が少なく、母乳や離乳食の量を心配することが多くため、乳幼児健診や病院での支援をより充実させる必要が示唆された。

E. 結論

本研究の結果から、スクリーンタイムと食習慣との関連、低出生体重児の状況が明らかになった。幼児期の健やかな発育のための栄養・食生活支援ガイド作成のために、今回のデータを活用していく。

【参考文献】

- 1) 厚生労働省、平成 27 年度乳幼児栄養調査 (2015)

F. 研究発表

1. 論文発表

2. 学会発表

- ・ Haraikawa M, Yoshiike N : Problems recognized by caregivers related to infants eating habits from the Child Nutrition Surveys 2015 in Japan. 13th Asian Congress of Nutrition, 2019, 8, Indonesia
- ・ Yoshiike N, Haraikawa M: Changes in the caregivers' behaviors, attitudes and problems regarding feeding / diet in Japanese infants and preschool children - From the nation-wide surveys-, 13th Asian Congress of Nutrition, 2019, 8, Indonesia
- ・ 祓川摩有、吉池信男：低出生体重児における授乳・離乳期の生活状況や食事の困りごとの特徴～乳幼児栄養調査のデータの再解析～. 第 8 回日本 DOHaD 学会, 2019 年 8 月. 東京
- ・ 祓川摩有、吉池信男：保護者が幼児の食事で特に気をつけていることと食生活や困りごとの関連. 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 2019 年 10 月. 高知市
- ・ 吉池信男、祓川摩有：幼児のスクリーンタイムと食習慣・間食との関連～平成 27 年度乳幼児栄養調査の再解析. 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 2019 年 10 月. 高知市

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

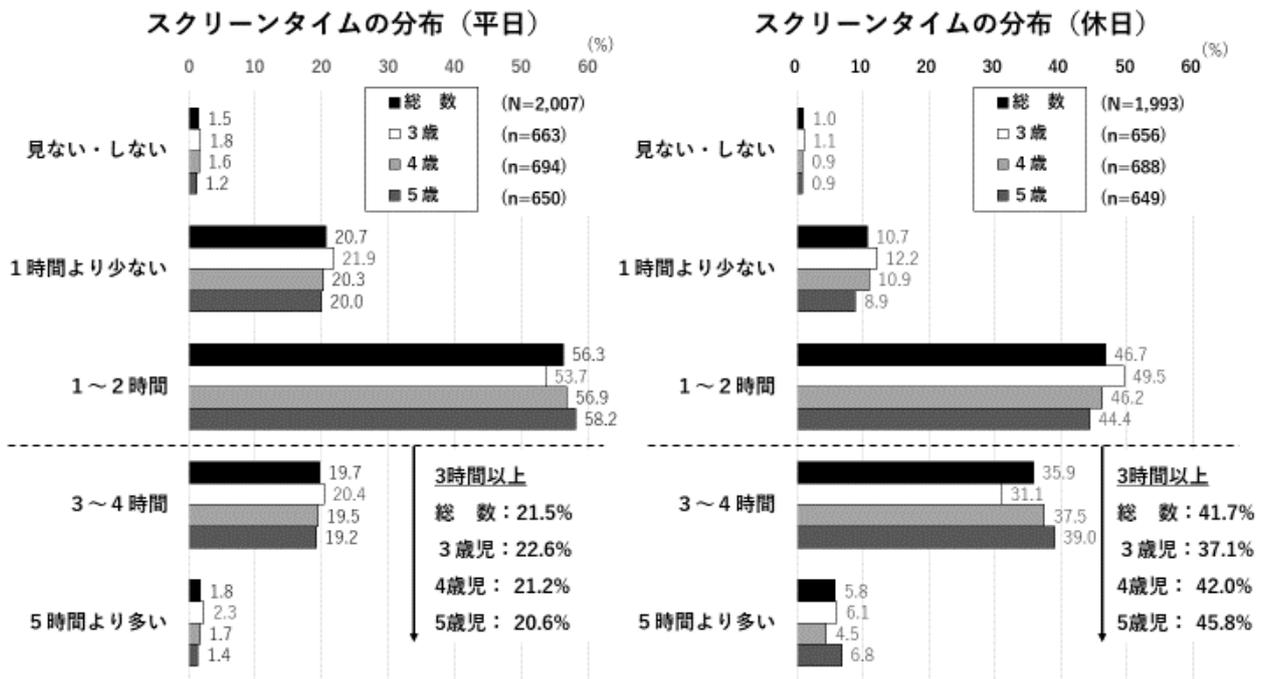


図1-1 平日及び休日におけるスクリーンタイムの分布 (年齢別)

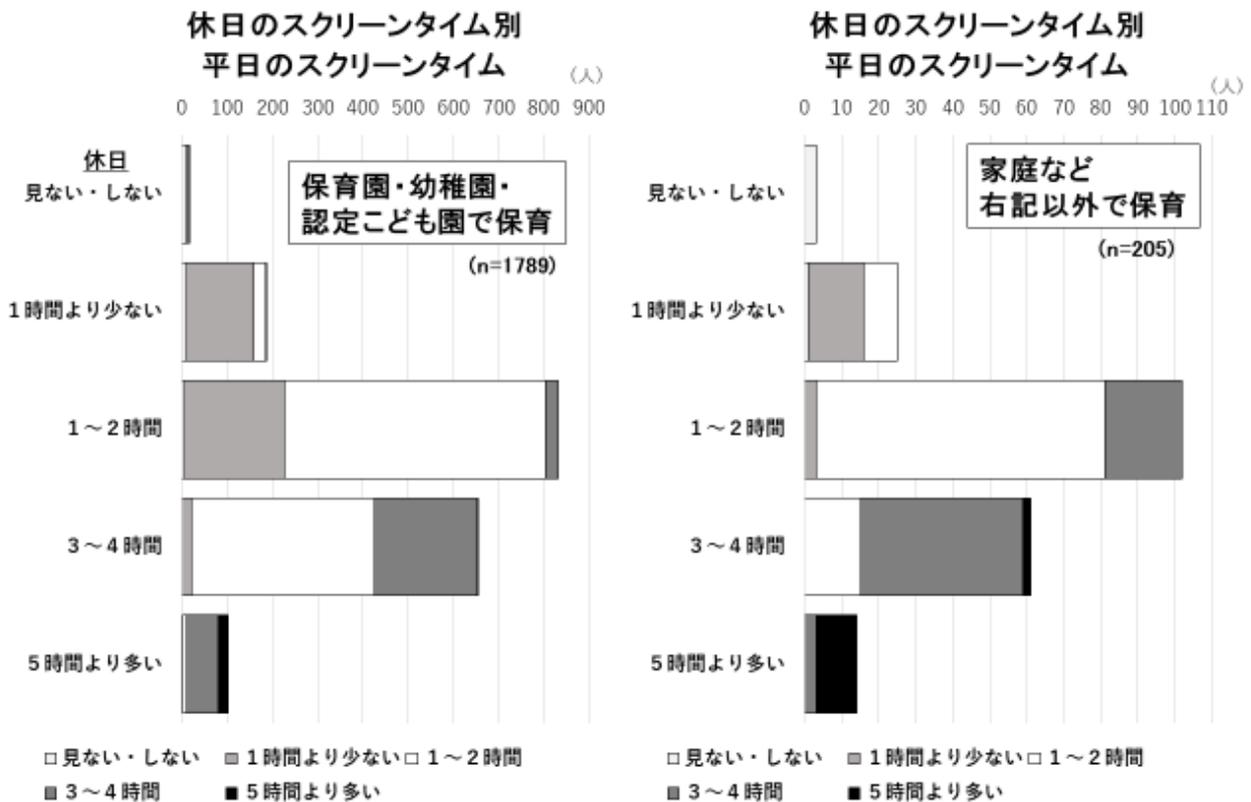


図1-2 平日と休日におけるスクリーンタイムとの関係 (預け先別)

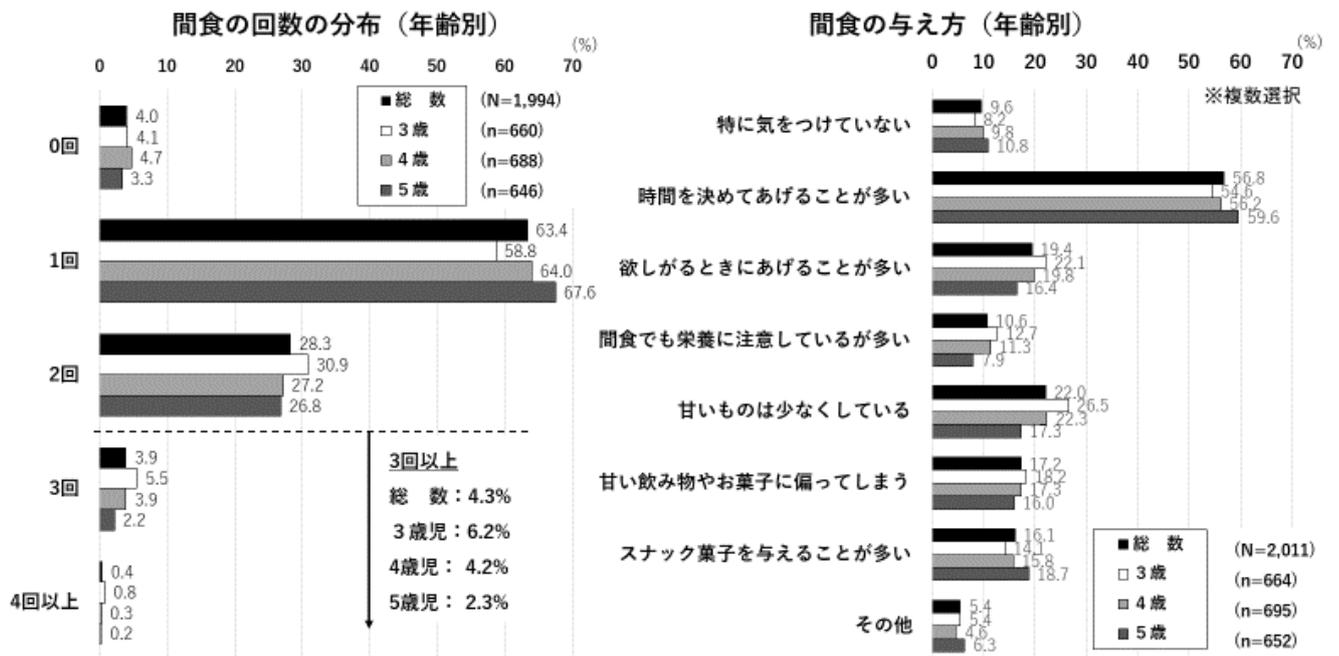


図1-3 間食の頻度および養育者の間食の与え方（年齢別）

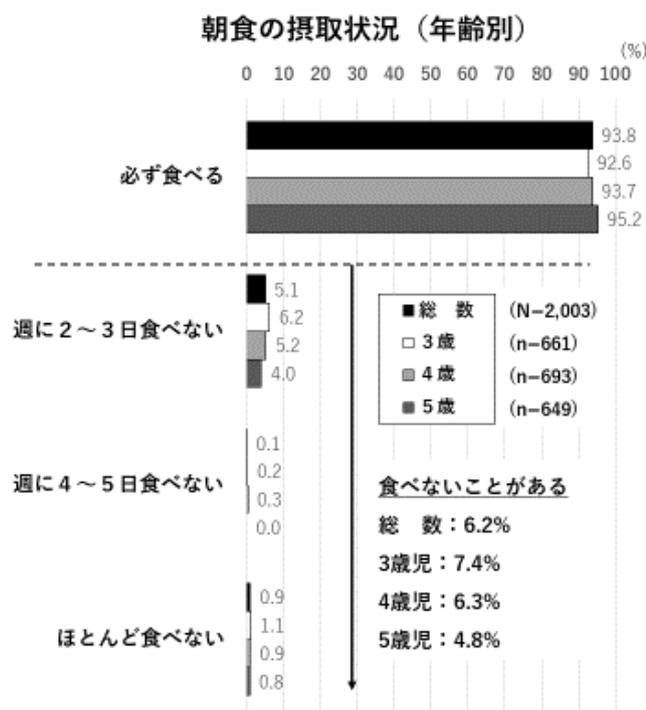


図1-4 朝食の摂取状況

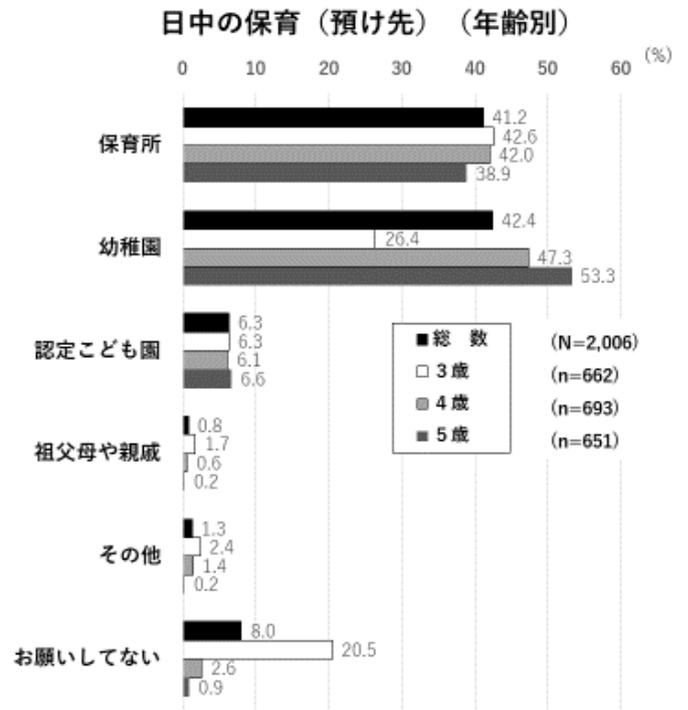


図1-5 昼間の預け先

表1-1 13食品の摂取頻度(年齢別)

	総数	まだ食べていない		週に1回未満		週に1~3日		週に4~6日		毎日1回する		毎日2回以上		合計	
		人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
1 穀類	総数	0	0.0	1	0.1	1	0.1	12	0.6	32	1.6	1953	97.7	1999	100
	3歳	0	0.0	0	0.0	1	0.2	4	0.6	10	1.5	644	97.7	659	100
	4歳	0	0.0	1	0.1	0	0.0	4	0.6	7	1.0	679	98.3	691	100
	5歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	0.6	15	2.3	630	97.1	649	100
2 魚	総数	4	0.2	115	5.8	1059	53.1	458	23.0	242	12.1	117	5.9	1995	100
	3歳	1	0.2	40	6.1	342	52.0	150	22.8	85	12.9	40	6.1	658	100
	4歳	2	0.3	33	4.8	360	52.3	172	25.0	81	11.8	40	5.8	688	100
	5歳	1	0.2	42	6.5	357	55.0	136	21.0	76	11.7	37	5.7	649	100
3 肉	総数	3	0.2	26	1.3	436	21.8	879	44.0	400	20.0	256	12.8	2000	100
	3歳	1	0.2	10	1.5	159	24.1	278	42.1	133	20.2	79	12.0	660	100
	4歳	2	0.3	9	1.3	145	21.0	296	42.8	149	21.5	91	13.2	692	100
	5歳	0	0.0	7	1.1	132	20.4	305	47.1	118	18.2	86	13.3	648	100
4 卵	総数	32	1.6	137	6.9	612	30.7	666	33.4	453	22.7	92	4.6	1992	100
	3歳	20	3.0	51	7.8	188	28.6	218	33.1	147	22.3	34	5.2	658	100
	4歳	6	0.9	44	6.4	217	31.5	223	32.4	163	23.7	35	5.1	688	100
	5歳	6	0.9	42	6.5	207	32.0	225	34.8	143	22.1	23	3.6	646	100
5 大豆・大豆製品	総数	6	0.3	138	6.9	695	34.9	599	30.1	415	20.8	139	7.0	1992	100
	3歳	3	0.5	45	6.8	220	33.4	206	31.3	141	21.4	44	6.7	659	100
	4歳	1	0.1	37	5.4	241	35.1	208	30.3	147	21.4	53	7.7	687	100
	5歳	2	0.3	56	8.7	234	36.2	185	28.6	127	19.7	42	6.5	646	100
6 野菜	総数	3	0.2	25	1.3	138	6.9	280	14.0	499	25.0	1053	52.7	1998	100
	3歳	1	0.2	11	1.7	56	8.5	84	12.7	175	26.6	332	50.4	659	100
	4歳	0	0.0	8	1.2	43	6.2	100	14.5	180	26.1	359	52.0	690	100
	5歳	2	0.3	6	0.9	39	6.0	96	14.8	144	22.2	362	55.8	649	100
7 果物	総数	6	0.3	165	8.3	543	27.2	525	26.3	538	26.9	221	11.1	1998	100
	3歳	2	0.3	52	7.9	184	27.9	172	26.1	179	27.2	70	10.6	659	100
	4歳	3	0.4	59	8.6	174	25.2	177	25.7	199	28.8	78	11.3	690	100
	5歳	1	0.2	54	8.3	185	28.5	176	27.1	160	24.7	73	11.2	649	100
8牛乳・乳製品	総数	16	0.8	49	2.5	214	10.7	284	14.2	735	36.8	697	34.9	1995	100
	3歳	2	0.3	26	4.0	58	8.8	93	14.1	221	33.6	258	39.2	658	100
	4歳	9	1.3	13	1.9	86	12.5	106	15.4	253	36.7	222	32.2	689	100
	5歳	5	0.8	10	1.5	70	10.8	85	13.1	261	40.3	217	33.5	648	100
9 お茶など甘くない飲料	総数	5	0.3	31	1.6	34	1.7	58	2.9	169	8.5	1698	85.1	1995	100
	3歳	2	0.3	11	1.7	14	2.1	16	2.4	44	6.7	571	86.8	658	100
	4歳	2	0.3	10	1.4	9	1.3	23	3.3	72	10.4	574	83.2	690	100
	5歳	1	0.2	10	1.5	11	1.7	19	2.9	53	8.2	553	85.5	647	100
10果汁など甘味飲料	総数	44	2.2	366	18.4	641	32.1	320	16.0	407	20.4	216	10.8	1994	100
	3歳	13	2.0	116	17.6	192	29.2	114	17.3	148	22.5	75	11.4	658	100
	4歳	17	2.5	136	19.7	228	33.0	103	14.9	123	17.8	84	12.2	691	100
	5歳	14	2.2	114	17.7	221	34.3	103	16.0	136	21.1	57	8.8	645	100
11菓子(菓子パンを含む)	総数	9	0.5	99	5.0	320	16.1	359	18.0	961	48.3	242	12.2	1990	100
	3歳	3	0.5	37	5.6	121	18.4	127	19.3	278	42.3	91	13.9	657	100
	4歳	3	0.4	30	4.4	109	15.8	116	16.8	342	49.6	89	12.9	689	100
	5歳	3	0.5	32	5.0	90	14.0	116	18.0	341	53.0	62	9.6	644	100
12インスタントラーメンやカップ麺	総数	335	16.7	1443	72.1	199	9.9	17	0.8	7	0.3	0	0.0	2001	100
	3歳	153	23.2	435	65.9	63	9.5	6	0.9	3	0.5	0	0.0	660	100
	4歳	115	16.6	493	71.2	77	11.1	5	0.7	2	0.3	0	0.0	692	100
	5歳	67	10.3	515	79.4	59	9.1	6	0.9	2	0.3	0	0.0	649	100
13ファストフード	総数	102	5.1	1646	82.3	234	11.7	15	0.7	4	0.2	0	0.0	2001	100
	3歳	44	6.7	544	82.4	66	10.0	4	0.6	2	0.3	0	0.0	660	100
	4歳	31	4.5	569	82.2	85	12.3	6	0.9	1	0.1	0	0.0	692	100
	5歳	27	4.2	533	82.1	83	12.8	5	0.8	1	0.2	0	0.0	649	100

表1-2 スクリーンタイムと13食品の摂取頻度との関連
(単相関分析)

食品摂取頻度(6段階)	スクリーンタイム(5段階)			
	平日		休日	
	r^*	p	r	p
1 穀類	0.056	0.0127	0.020	0.3638
2 魚	-0.083	0.0002	-0.071	0.0015
3 肉	0.007	0.7386	0.004	0.8461
4 卵	-0.016	0.4868	-0.022	0.3215
5 大豆・大豆製品	-0.055	0.015	-0.060	0.0076
6 野菜	-0.081	0.0003	-0.052	0.0215
7 果物	-0.107	<.0001	-0.100	<.0001
8 牛乳・乳製品	-0.071	0.0015	-0.045	0.0446
9 お茶など甘くない飲料	0.030	0.1845	0.015	0.5069
10 果汁など甘味飲料	0.167	<.0001	0.166	<.0001
11 菓子(菓子パンを含む)	0.158	<.0001	0.125	<.0001
12 インスタントラーメン、カップ麺	0.127	<.0001	0.167	<.0001
13 ファストフード	0.127	<.0001	0.137	<.0001

* Spearmanの順位相関係数

表1-3 スクリーンタイムと間食及び朝食欠食との関連(単相関分析)

間食の頻度(5段階)	スクリーンタイム(5段階)			
	平日		休日	
	r^*	p	r	p
間食の頻度(5段階)	0.165	<.0001	0.178	<.0001
間食の与え方(該当1:非該当0)				
1 特に気をつけていない	0.017	0.459	0.054	0.0153
2 時間を決めてあげることが多い	-0.051	0.0237	-0.071	0.0016
3 欲しがる時にあげることが多い	0.082	0.0002	0.093	<.0001
4 間食でも栄養に注意しているが多	-0.111	<.0001	-0.095	<.0001
5 甘いものは少なくしている	-0.113	<.0001	-0.142	<.0001
6 甘い飲み物やお菓자에偏ってしまう	0.083	0.0002	0.108	<.0001
7 スナック菓子を与えることが多い	0.117	<.0001	0.086	0.0001
朝食欠食の頻度(5段階)	0.096	<.0001	0.083	0.0002

* Spearmanの順位相関係数

表1-4 長いスクリーンタイム（3時間以上）と食習慣等との関連
 （多重ロジスティック回帰分析；ステップワイズ法で有意となった変数）

	平日のスクリーンタイム			休日のスクリーンタイム		
	オッズ比*	95% CI		オッズ比*	95% CI	
食品摂取頻度（高頻度 1: それ以外 0）						
7 果物	0.73	0.57	0.93	0.73	0.59	0.89
8 牛乳・乳製品				0.77	0.63	0.94
10 果汁など甘味飲料				1.53	1.24	1.88
11 菓子（菓子パンを含む）	1.81	1.31	2.50	1.59	1.18	2.15
12 インスタントラーメン、カップ麺	1.48	1.05	2.10			
13 ファストフード	1.99	1.45	2.75	1.68	1.26	2.24
間食の与え方（該当 1: 非該当 0）						
1 特に気をつけていない	1.85	1.25	2.75	1.62	1.16	2.26
3 欲しがるときにあげることが多い	1.82	1.38	2.40	1.71	1.35	2.18
4 間食でも栄養に注意しているが多い	0.57	0.36	0.90			
5 甘いものは少なくしている				0.71	0.55	0.91
6 甘い飲み物やお菓자에偏ってしまう	1.68	1.27	2.22	1.66	1.29	2.14
7 スナック菓子を与えることが多い	2.12	1.60	2.81	1.52	1.18	1.96

* 性・年齢、出生順序、母親の年齢、昼間の預け先、ゆとり感（経済的、時間的、全般）で調整

表 2-1 対象者の特性

		低出生体重児群	正出生体重児群	P 値
就労状況の有無 n (%)	有り	19 (22.1)	381 (38.1)	0.002
	無し	67 (77.9)	619 (61.9)	
子どもの預け先 (全体) n (%)	有り	23 (26.7)	347 (34.1)	NS
	無し	63 (73.3)	671 (65.9)	
子どもの預け先 (保育所) n (%)	有り	12 (14.0)	225 (28.4)	0.047
	無し	74 (86.0)	793 (71.6)	
子どもの預け先 (祖父母や親戚) n (%)	有り	11 (12.8)	104 (10.2)	NS
	無し	75 (87.2)	793 (89.8)	
離乳食の開始時期	月齢	5.7±1.1	5.7±1.2	NS

表 2-2 就労状況の有無と子どもの預け先、離乳食の開始時期

	低出生体重児群	正出生体重児群	P 値
性別 n(%)	男 32(37.2)	男 529(52.0)	0.006
	女 54(62.7)	女 488(48.0)	
出生順位 (平均±SD)	1.6±0.8	1.75±0.9	NS
在胎週数 (平均±SD)	37.3±1.7	38.9±1.5	<0.001
出生体重 (平均±SD)	2292±223	3081±324	<0.001
肥満度 (1歳) (平均±SD)	-2.5±12.2	1.5±9.1	0.011

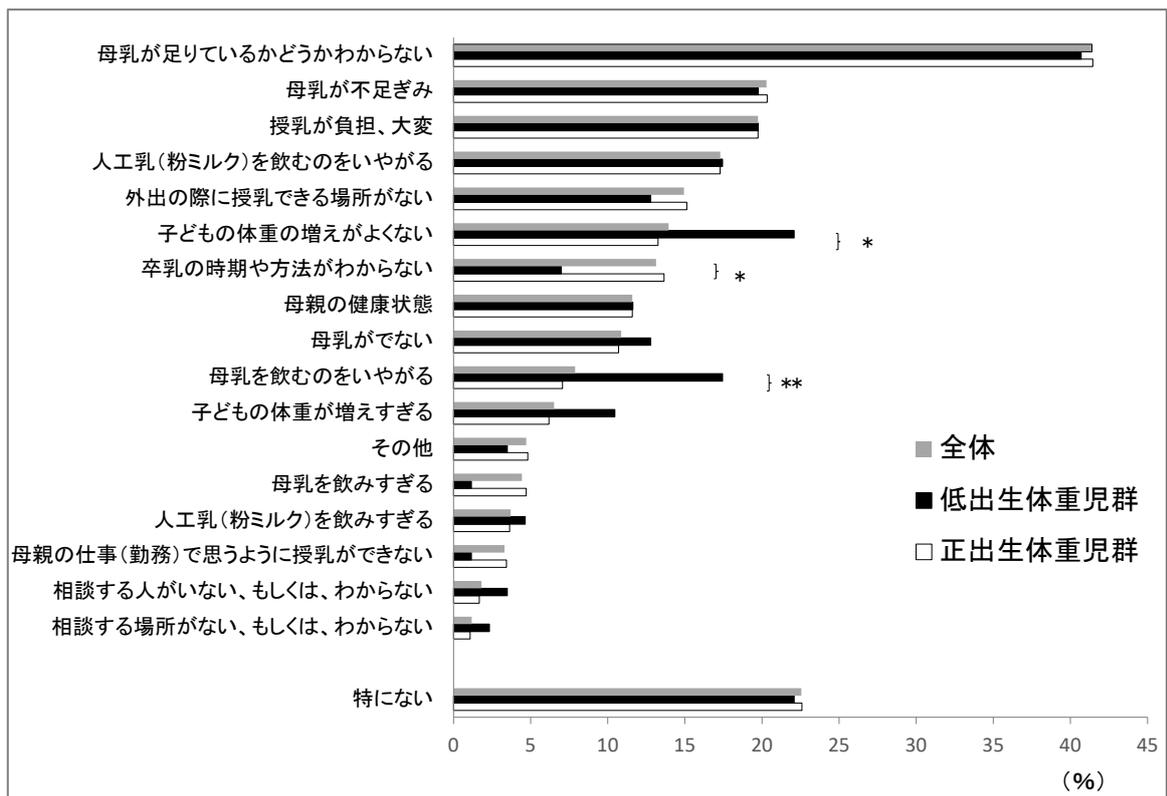


図 2 - 1 授乳の困りごと (低出生体重児)

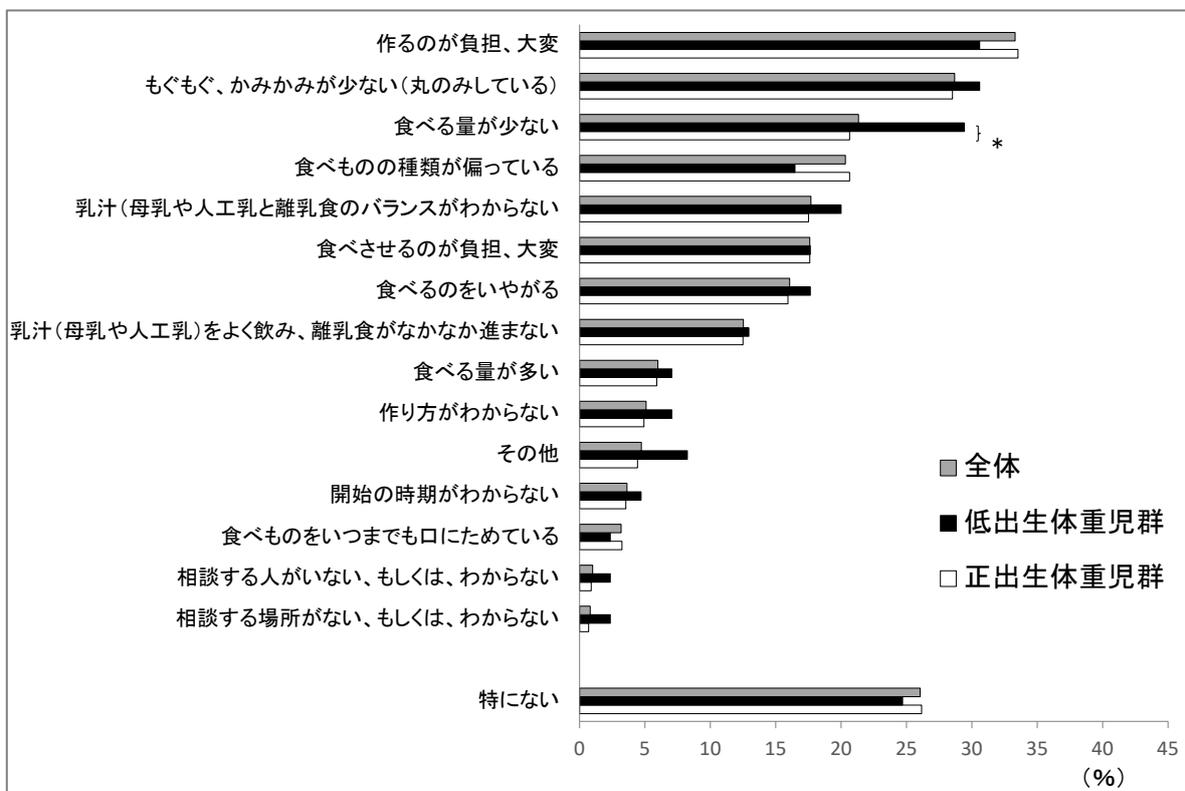


図 2 - 2 離乳食の困りごと (低出生体重児)